

東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦

「触車防止に向けた安全対策に関する 緊急申し入れ」を横浜支社に提出！

5月23日、東海道線戸塚駅において線路内落とし物拾得作業中に列車から汽笛吹鳴・非常停車した事象が発生しました。これは、一步誤れば触車事故に直結し、社員・グループ会社社員の命が奪われかねない重大な事象です。

職場では、社員不足で労働強化が蔓延している中、安全で安心して拾得作業が行われなければなりません。現在多くの駅で抑止手配完了後に落とし物拾得作業を行う状況の中、一部の駅では見通し距離などを支社と確認し、以前と変わらず見張り員を立てて落とし物拾得作業を再開している箇所もあります。

各駅の見通し距離や列車接近装置などの条件に関わらず、「抑止手配」を行い作業することが「究極の安全」であると考えます。

労働組合として、組合員・社員のかげがいのない「命」を守ることが絶対的な使命です。事象を未然に防ぐためには、安全確保のルールが必要不可欠です。

そのためにも、申第7号「触車防止に向けた安全対策に関する緊急申し入れ」を下記の内容で横浜支社に提出しました。

【申し入れ項目】

1. 線路内落とし物拾得作業を行う際は、
関係する列車を抑止すること。
2. 線路内落とし物拾得作業には時間が掛かることを
お客さまに周知すること。

東日本ユニオンは「安全の確立」にむけて、職場で働く組合員・社員の「声」を真摯に受け止めて、原因究明・再発防止をめざしていきます！